

事業概要：「住む」「働く」「訪れる」@Hyogoプロジェクト

旧制度（推進）

申請者	兵庫県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	436,479千円（145,493千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	地方移住に関心が高い都市圏居住者に対し、大規模イベントの実施やターゲットの拡大につながる効率的な情報配信などによりUJI ターンの促進を図り、社会減から社会増への転換を図る。 地域住民等によるビジネス手法を活用した地域課題の解決支援や多様な分野への就業支援により、持続可能な地域づくりと雇用の推進を図る。クルージングMICEやアニメツーリズム等、発想の転換と新たなコンテンツ発掘による持続可能な観光地域づくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大規模イベントの実施やターゲットの拡充や効率的な情報配信、地域住民等によるビジネス手法を活用した地域課題の解決支援、多様な分野への就業支援やクルージングMICEやアニメツーリズム等、新たなコンテンツ発掘等を行う。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・移住への関心が高い層への情報発信を強化するため、移住相談だけでなく、就労、就農を含めた単独開催によるフェア開催（委託料）20,000千円 ・Webによるターゲティング広告等あらゆるメディア広報媒体を活用した情報発信（委託料） 15,883千円 ・兵庫を元気にしているすごい人物等、ふるさとへの誇りや愛着につながる情報を発信（委託料等） 11,056千円		
		首都圏で全国規模の移住促進イベント（イメージ）	
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①移住施策によって県外から転入した人の数（+1,200人） ②県内大学卒業生の県内企業への就職率（+4.2%） ③県内観光消費額（+43,500億円） ④県内観光入込客数（+900万人）		実施体制 県が主体となり、企業等に委託や、市町又は地元事業者等に補助を行うなどにより実施する。

事業概要：しごと創出プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	兵庫県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	424,482千円（141,494千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	若い世代の就業ニーズに応じた産業の創出や、若者にとって魅力を感じられる企業の増加を目指す。 ・成長産業4分野を重点的に育成し兵庫経済の競争力を高める。 ・多様な働き方や活躍しやすい環境を整備し若者の定着を図る。 ・中等教育でのアントプレナーシップ教育を実施し、若者の起業の活発化を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若い世代の就業ニーズに応じた産業の創出や、若者にとって魅力を感じられる企業の増加を促すため、研究開発やビジネスプラン等へ支援する。 【R8年度事業 経費内訳】 ・県内の中小企業を含む産学官のグループによる産業創出を図るため、産学官が連携して取り組む研究開発に係る費用を補助 （補助金） 16,000千円 ・DX導入・現場改善・生産管理システム導入等生産性向上等を支援（委託料） 65,801千円 ・デジタル技術を積極的に活用する若者のビジネスプランへの支援（補助金） 33,000千円 ・県内中学校、高等学校への社会課題解決型起業家精神養成プログラムの導入等の若者起業人材育成（委託、補助金等） 18,126千円		 成長産業強化 企業例 ウェアブル感触機器 （（株）アワジテック）  ものづくり支援センター （生産性向上支援）イメージ ロボット導入支援
	KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若者(20歳代)の転入超過数（+4,260人） ②成長産業（環境・水素等新エネルギー、航空・宇宙、スマート・AI・IoT、健康・医療）の企業数（+21社） ③県内生産性向上達成企業の増加数（+9社） ④開業率の全国順位（+1位）	



ものづくり支援センター
(生産性向上支援) イメージ
ロボット導入支援

事業概要：【訪日外国人等観光客誘致プロジェクト～「世界一の食の島」を目指して～】

継続

申請者	兵庫県ほか 3 自治体※						初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	80,760千円 (26,920千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	「淡路島ならではの本物体験」等コンテンツの造成・磨き上げや周辺地域の空港を活用したプロモーションを行うことで、消費単価の高い訪日外国人等を誘客し観光消費額の向上を促す。 「世界一の食の島」を目指し、ガストロノミー的要素を含んだコンテンツの造成・磨き上げを行い、淡路島の多様な「食」や「食材」のブランド化を図る。							
事業概要・主な経費	【事業概要】 訪日外国人等観光客に向けた「淡路島ならではの本物体験」等のコンテンツの造成や周辺地域の空港を活用した誘客プロモーションを行う。また、ガストロノミー的要素を盛り込んだ「食」分野等の魅力的なコンテンツ造成を行う。						訪日外国人等観光客に向けたコンテンツの発掘・造成	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 訪日外国人等観光客誘致戦略の推進 ・専門人材の登用（報償費）5,928千円 訪日外国人等観光客受入環境の整備 ・コンテンツ予約ページの多言語化（委託費）2,920千円 アフター万博を見据えた訪日外国人等観光客誘客戦略事業 ・アジア圏でのプロモーション（委託費）4,800千円 ・空港等を活用したプロモーション（委託費）4,790千円 「世界一の食の島」に向けた取組の推進 ・ガストロノミー的要素を盛り込んだ「食」分野等の魅力的なコンテンツの開発（報償費）1,000千円						「世界一の食の島」に向けた「食」のブランディング化	
主なKPI	①宿泊者に占める外国人観光客（+1.2%） ②観光GDP（+85億円） ③訪日外国人等観光客向け観光コンテンツ造成数（+30件） ④観光客の消費単価（宿泊者）（+10,000円）						実施体制	県と市が主体となり、企業等に委託するなどにより実施する。

※兵庫県、洲本市、南あわじ市、淡路市の広域連携事業

事業概要：活力ある地域経済づくりプロジェクト

継続

申請者	兵庫県					初回採択回	令和7年第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	794,238千円 (264,746千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	ひょうごを牽引する新たな産業の創出するため、成長産業の育成とひょうごスタートアップエコシステムを構築する。 中小企業の持続可能性と収益性を両立した循環経済の実現を目指し、その経営基盤強化を図る。 ひょうごの経済を支える人材の確保・育成を進める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新産業の創出・成長への支援の充実・強化、中小企業の経営基盤の強化や、地域経済を支える人材への投資促進を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・航空機産業セミナーの開催、研修等によるグリーン化等の環境変化に対応した生産技術指導の実施（補助金） 25,292千円 ・若者のビジネスプランのブラッシュアップや伴走支援、スタートアップの起業や事業成長に必要な経費の補助（委託料、補助金） 25,352千円 ・スタートアップ企業と産学官の研究チームによる研究開発補助（補助金） 21,000千円 ・地場産地の現状を踏まえた戦略的な計画策定と事業展開を支援（委託等） 25,022千円 ・大学生と中小企業のマッチングを促進するためのインターンシッププログラムの作成支援やテーマ型インターンシップ、探求型プレインターンシップの実施（委託等） 17,802千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①製造品付加価値額（+2,349億円） ②地場産業生産額（±0億円） ③スタートアップ創出数（+90件） ④DX導入支援により実装に結びついた件数（+33件） ⑤県内大学卒業生の県内企業就職率（+4.8%）					実施体制	県が主体となり、企業等に委託や、市町又は地元事業者等に補助を行うなどにより実施する。

インターンシップの様子

事業概要：持続可能な農振水産業の推進プロジェクト

継続

申請者	兵庫県						初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	390,371千円 (124,507千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果								
先端技術を活用し、各地域の営農条件等に対応したスマート化を推進することにより、作業の省力化など生産性の向上と產品の高品質化等を図る。本県の強みを活かし、需要と直結した品目・品種の生産の新展開を図り、さらなるブランド戦略の展開する。農地の持続的な活用・保全を図るため、担い手や自給的農家、非農家等が、営農や草刈り、水路管理等に関する役割分担の合意のもとに 地域全体で継続していく取組を推進する。地域資源の活用や環境の保全に地域ぐるみで取り組み、集落機能の維持等を図る。								
事業概要・主な経費							【事業概要】 スマート化による新しい農業の展開、地域の強みを活かした需要と直結した生産の新展開、地域の多様な人材が支えあう持続可能な地域協働体制の確立、漁業者の労働環境の改善の支援、農業被害を防ぐ地域づくり等を行う。 ----- 【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・但馬牛・神戸ビーフの生産性向上と安定生産を図るため、DX技術の導入等により生産性向上に向けた取組を推進（補助金） 20,000千円 ・温暖化に対応した水稻の品種ニーズに対応するため、種子産地の品種転換に向けた取組を支援（補助金） 19,000千円 ・農業や農用地保全活動と併せて、地域コミュニティの維持に資する取組を行う農村RMO組織の運営を支援（委託、補助金等） 3,746千円 ・漁業者の人材確保のため、漁労作業の省力化等労働環境改善を支援（補助金） 16,500千円 ・放置竹林の拡大防止のため、伐採・保育に係る経費の支援と竹を活用した土系舗装の実証実験を実施（工事費、補助金等） 4,000千円	
主なKPI							実施体制	
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							県が主体となり、企業等に委託や、市町又は地元事業者等に補助を行うなどにより実施する。	

事業概要：多様な地域資源を活かしたエンパワーメント推進プロジェクト

継続

申請者	兵庫県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	745,477千円 (266,063千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	人の動きを活発化させるため、人材育成や中間支援機関のネットワーク化、またエリアマネジメントを導入したまちづくりなどにより地域の魅力を高め、持続可能な地域づくりを展開するとともに社会増を目指す。 五国の多様で固有の資源を活かし、磨き上げをしながら魅力を向上させ、その土地ならではの食や文化に触れる機会、地元の人々との交流やローカルな体験など、地域一体となった兵庫ならではの取組を進め、2025年大阪・関西万博、ワールドマスターズゲームズ2027関西、神戸空港の国際化などを好機とした交流人口の拡大を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人材育成や中間支援機関のネットワーク化、エリアマネジメントを導入したまちづくり、地域資源の磨き上げなどにより地域の魅力を高める。						 移住相談の様子	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域活性化に熱意のある県民、事業者、団体等各主体の交流の場となるプラットフォームを構築し、事業者とのマッチングが成立した先導的取組に対し補助（委託、補助金等）18,882千円 ・地域づくりのトップランナーが所属する団体と若者をマッチングし、団体のもとで地域活動の体験実施（委託等）4,860千円 ・県内外へのひょうごの魅力発信、移住の促進を図るため、WEBやメディアを活用した広報、市町と連携したイベント等の開催などによる積極的な広報展開（一部委託料） 81,478千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①外国人を含む県内への転入超過数(+12,700人) ②移住施策による県外からの転入者数(+3,900人) ③県内観光消費額（+1,386億円） ④公民連携による地域創生事業支援数（+30件） ⑤空き家活用件数（+330件）						実施体制	県が主体となり、企業等に委託や、市町又は地元事業者等に補助を行うなどにより実施する。

事業概要：次代を担う若者の活躍推進プロジェクト

継続

申請者	兵庫県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	405,108千円 (137,645千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	次代を担う若者が、望む学びや働き方、暮らし方ができ、存分に力を発揮できる社会の実現に向け、若者・Z世代を直接応援する取り組みを推進していく。 ・多様で安心して学べる環境整備 ・子どもを産み育てやすい環境整備 ・多様な働く場の創出に向けた環境整備							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多様で安心して学べ、子供を産み育てやすく、また、多様な働く場の創出に向けた環境整備を行う。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・全県立高校において、地域の核となる人材を育成し、地域への愛着を醸成するため、生徒が地域の行事等へ参画し、地域企業での就業体験や事業提案等をする取組実施 77,000千円 ・義務教育段階における教育機会の確保のため、フリースクール等民間施設に通う児童生徒の家庭に対する支援を実施（補助金） 29,100千円 ・プレコンセプションケアを推進するため、動画等を活用した普及啓発を実施（委託等） 8,000千円 ・不妊治療と仕事の両立を推進するため、動画等を活用した普及啓発、企業への専門家派遣、研修を実施（委託等） 3,303千円 ・企業の人手不足や外国人の県内定着を図るため、外国人雇用に関する企業認定制度により、認定企業による外国人材の採用を支援（委託等） 13,221千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①ファミリー層の転入超過（+3,900人） ②将来、ふるさとで働きたいと思う生徒の割合（+13.5%） ③不登校児童生徒数の全児童生徒数に占める割合（±0%） ④合計特殊出生率（±0%） ⑤安心して楽しく子育てができると思う人の割合（5.6%） ⑥県内外国人労働者数（+199,500人）						実施体制	県が主体となり、企業等に委託や、市町又は地元事業者等に補助を行うなどにより実施する。

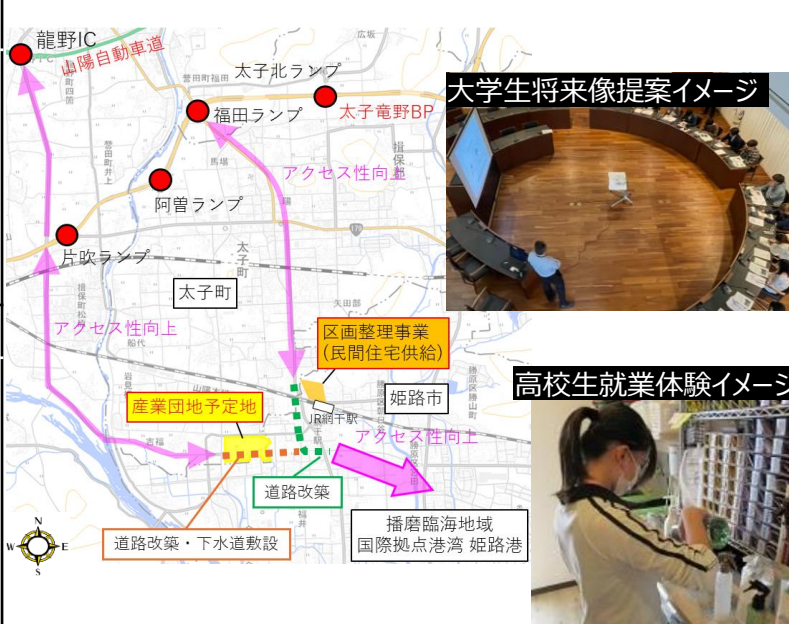
事業概要：安全安心・居場所創造による地域活力創造プロジェクト

継続

申請者	兵庫県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	171,248千円 (55,804千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・子どもの安全確保や犯罪防止など、地域の安全を向上し、安心して暮らせる地域社会を構築する。 ・高齢者や障害者が自立した生活ができる環境や住み慣れた地域で安心して生活できる環境、及び同居家族も孤立することなく支えることができる環境を整備する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新たな詐欺へ対応するため、被害防止に向けた普及啓発を強化するなど地域全体で安全・安心を守る体制の強化、「農福連携」のマッチング支援を通して地域の高齢者・障害者等の居場所づくりの確保を行うことで、地域全体の活力が向上し、持続可能な地域社会の形成につながる。					 【ユニバーサル農園 神崎郡福崎町】	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・特殊詐欺等被害の未然防止及び犯罪実行者の発生防止のため、SNS等を活用した情報発信や地域と連携した講習会等を実施 10,000千円 ・家族介護者の離職を防止するとともに、中重度の要介護高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、24時間対応在宅介護サービスの事業者の新規参入を促進し、サービスの普及を図るため、新規事業所開設を支援（補助金） 27,806千円 ・農業者と福祉事業所等をつなぐ体制を構築するため、農業者、福祉事業所、行政等を構成員とした協議会の設立、農業者と障害者等をマッチングするワンストップ型のアプリの構築、農福連携技術支援者の派遣等によるフォローを実施（一部委託）5,626千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①住んでいる地域で治安が良く、安心して暮らせると思っている人の割合（±0%） ②住んでいる地域での介護の安心感において「安心感がある」「どちらかといえば安心感がある」の割合（±0%） ③定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所整備数（+39箇所） ④農福連携取組件数（+20件）					実施体制	県が主体となり、企業等に委託や、市町又は地元事業者等に補助を行うなどにより実施する。

事業概要：太子町沖代・米田地区企業誘致事業

継続

申請者	兵庫県、太子町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,670,000千円 (1,050,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	民間資金を活用した産業団地開発にあわせて、確実な企業の誘致と誘致企業の発展を促すために、ソフト事業とインフラ整備事業の両輪で実施することで、雇用を安定的に確保し、太子町の財政安定化に寄与させ、持続可能な行政サービス水準の維持を図る。 高校生や大学生向けのキャリア形成を考えるきっかけを与える事業、誘致企業と太子町内企業の経営者や従業員向けのセミナー開催、産業団地周辺の魅力を高め、近隣住民が産業団地開発を受け入れやすくするインフラ整備により、企業誘致と新規雇用者数増加の確実性を高める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 高規格道路や、国際拠点港湾近くの民間資金を活用した産業団地開発にあわせて、人材確保を課題とする企業の支援やUIターン促進の促進と地元定着、企業の誘致の確実性を高める事業を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 〇インフラ整備事業 ・高規格道路や国際拠点港湾、民間住宅供給が予定される区画整理事業箇所から産業団地へのアクセス性を向上させるため等の道路改築事業 1,050,000千円 ・産業団地操業に必要な下水道敷設 0千円						
主なKPI	①地域における新規雇用者数（+16人） ②企業誘致候補箇所に占める誘致企業面積割合（+20%） ③道路整備による交通転換量（+4,000台） ④下水道の1日当りの排水量（+20m3/日） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					実施体制	県が主体となり、地元施工業者等に発注し道路整備事業を実施。連携する町は町が主体となり事業者等に委託するなどして町事業を実施。

事業概要：「（仮称）道の駅姫路」整備事業

継続

申請者	兵庫県、兵庫県姫路市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,769,568千円 (115,710千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・姫路市の観光客の7割が車利用である等の現状から休憩機能や情報発信機能を備えた道の駅を新たに整備する。これに地元製品の販売や飲食、交流・利便性向上機能を備えた地域振興施設を加え、一体型の道の駅として兵庫県と姫路市共同で整備することにより、市内の観光消費額の増加等の経済波及効果が期待される。 ・広域防災拠点としても位置づけられる予定であり、災害時には応急活動要員の集結・連絡拠点としても活用する。 ・民間の技術力や経営力を活用した（DBO方式）により、効率的かつ魅力的な施設整備を目指す。 ・地元の農畜水産物等を活用した道の駅の商品開発補助事業やプロモーション事業を行うことによりさらなる効果の向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 国道372号沿いに道路休憩施設、情報提供施設に地元製品の販売や飲食、交流・利便性向上機能を備えた地域振興施設を加えた一体型の道の駅として整備する。（民間の技術・経営力を活用したDBO方式を採用）また、地元の農畜水産物等を活用した道の駅の商品開発やPR事業を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築工事及び造成の設計を実施 80,542千円 ・建築工事及び造成工事の着工準備を実施 0円 ○インフラ整備事業 ・駐車場・道路休憩施設・情報提供施設の整備 30,000千円 ・道路改築事業 5,168千円						
主なKPI	①姫路市の観光消費額（+14,071百万円） ②姫路市の観光入込客数（+3,715千人） ③道の駅姫路の売上額（+383百万円） ④道の駅姫路の利用者数（+369千人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					実施体制	一体型道の駅として道路休憩施設は県、地域振興施設は市が主体となり共同で整備。事業方式は、設計・建設・維持管理・運営業務を一括して民間事業者にて性能発注を行うDBO方式により実施。

事業概要：サステナブルツーリズムによる阪神南地域の魅力発見プロジェクト

継続

申請者	兵庫県						初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R11年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,510,000千円 (1,317,000千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓			
目的・効果									
・大阪・神戸の中間にあり、公共交通機関でのアクセス性が良く、都市部でありながら多様な地域資源を有する阪神南地域をフィールドに、「環境」、「文化」、「スポーツ」、「経済」の観点で持続可能かつ発展性のあるツーリズムを推進する。 サステナブルツーリズム：訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光(国連世界観光機関(UNWTO)) ・環境負荷が小さい自転車での移動を基本とし、武庫川の干潟や尼崎21世紀の森などの「環境」、阪神間モダニズム、伝統的酒造りを行う今津郷・西宮郷などの「文化」、カヌー競技の聖地となっている武庫川河口部や甲子園などの「スポーツ」、工都尼崎の発展の礎となった尼ロック・工場夜景などの「経済」をめぐる体験してもらうことで、地域の魅力を発見してもらい、来訪者の増加、地域の活性化につなげる。									
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 環境負荷が小さい自転車で地域資源をめぐる体験してもらうことで、地域の魅力を知ってもらう機会を創出する。そのために、地域内3市と連携し自転車周遊の拠点となる駅周辺施設・休憩施設を整備するとともに、自転車走行環境の向上、目的地となる観光資源の磨き上げを行う。								
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 サステナブルツーリズムを体験し知ってもらうための取り組み ・ 地元・関係機関による協議会設立・実施方策の検討、地域資源を生かしたイベントの開催、公共交通・自転車での移動を想定した周遊マップ・PR動画の制作 17,000千円 ○インフラ整備事業経費 自転車走行環境の向上、観光資源磨き上げ ・ 自転車通行空間整備等 100,000千円 ・ 観光資源の磨き上げ(干潟拡張、マリンスポーツエリアの整備) 1,200,000千円								
主なKPI	①観光消費額（+574億円） ②観光施設の利用者数（+7万人） ③自慢したい地域の宝がある割合（+2.8%） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						実施体制	県が主体となり、地元施工業者等に応注し自転車通行空間整備等を実施する。	

事業概要：稼ぐ力アップによる地域経済活力創出プロジェクト

新規

申請者	兵庫県、神戸市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	604,932千円 (201,644千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	県内大学との連携や支援拠点の充実によるスタートアップへの支援や成長産業の創出・参入を促進し、新たな産業を創出する。 地場製品のブランド価値の向上や新技術の活用により産業競争力を強化する。 県内中小企業の振興を図るため、SDG s 取組の推進や事業承継支援により中小企業の経営基盤を強化する。 インバウンドの嗜好に合わせたツーリズムを展開し、海外からの誘客を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スタートアップの支援や兵庫に集積する多様な産業の競争力を高める取り組みや、観光でインバウンド誘客の強化を行う。					 空飛ぶクルマのイメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・大学発スタートアップを育成するため、研究シーズの発掘事業化に向けた支援 14,046千円 ・起業支援拠点の運営、イベント実施によるネットワーク構築、スタートアップ支援強化に係る経費 74,723千円 ・成長産業である空飛ぶクルマの事業化準備 60,366千円 ・地場製品の海外需要を高めるための集客イベント、産地視察 10,000千円 ・事業承継のポジティブイメージ醸成に向けたセミナー開催、PR動画制作、専門家派遣 5,164千円 ・インバウンド誘客促進に向け、持続可能な観光に関するセミナー、持続可能な観光に関する国際認証取得に向けた相談会開催 3,150千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①製造品付加価値額（+2,951億円） ②スタートアップ創出数（+5件） ③地場産業(主要産地)の生産額（+0億円） ④SDG s に積極的な県内企業の割合（+19%） ⑤外国人延べ宿泊者数（+198万人） ⑥住んでいる地域に優れた製品・技術・ブランド力をもった企業があることを知っている人の割合（+0%）					実施体制	県が主体となり、企業等に委託や、市町又は地元事業者等に補助を行うなどにより実施する。 連携する市は市事業を実施する。

事業概要：豊かな食と農充実プロジェクト

新規

申請者	兵庫県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	137,448千円 (62,148千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・水稻における生産コストの低減や収益性の向上に資する革新的な技術の実証するほか、技術習得に向けた研修を実施することで、県内水稻の安定的な生産を図るとともに、高温・渇水の影響を受ける地域で高温に対応する技術を普及し、野菜等生産農家の経営安定を図る。 ・検査システムを効率化し、衛生面の向上や雇用就労環境の改善することで、畜産物を安定的に生産する。 ・幼児期からの有機農産物への理解促進や、農業者への先進事例情報提供による機運醸成により人と環境にやさしい持続可能な農業を推進する。 ・インバウンド向け県産酒米を使用した日本酒の商品開発や産地のPRによる県産農産物のブランド力を強化する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内水稻の安定的生産のための革新的技術導入や稲作農家の育成、畜産物の安定的な生産、人と環境にやさしい持続可能な農業の推進、県産農産物のブランド力の強化等を行う。					安定的な生産のための技術実証例   ドローンによる水稻直播 高温対策のため展張した遮光カーテン	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・水稻収益性の向上に資する革新的な技術の検証（委託料）10,000千円 ・高温・渇水による減収や品質低下等の被害低減に向けた各産地における対策技術の検討・実証（委託料等）6,692千円 ・食肉検査システム構築（機器整備費、委託料）26,198千円 ・人と環境にやさしい農業のイメージ戦略策定、普及支援(委託料)5,378千円 ・インバウンド向け県産酒米を使用した日本酒新商品開発・PR経費（補助金）2,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農林水産業産出額（+80億円） ②畜産産出額（+27億円） ③県内における有機農業取組面積の状況（+549ha） ④新たに、農業、林業、漁業に就いた者の数（+11人） ⑤海外市場開拓数（+47国・地域） ⑥地元や県内の農林水産業に活気があると感じている人の割合（+0%）					実施体制	県が主体となり、企業等に委託や、市町又は地元事業者等に補助を行うなどにより実施する。



ドローンによる水稻直播



高温対策のため展張した遮光カーテン

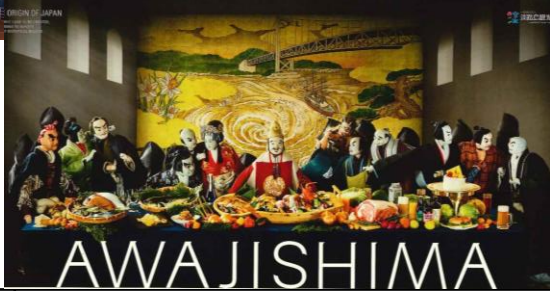
事業概要：地域や人をつなぐご縁（五縁）プロジェクト

新規

申請者	兵庫県					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	742,918千円 (260,752千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地域の活動現場を地域の人々が発信、多くの人に体験していただくひょうフィールドパビリオンの魅力向上やプロモーションにより、認知度向上や誘客促進による地域の活力を高める。 広域的な集落の機能を支えあう住民主体の地域運営体制を構築するとともに、豊かな自然環境の保全による持続可能な地域を構築する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ひょうごフィールドパビリオンの磨き上げや情報発信の強化、持続可能な多自然地域プロジェクトの検証や次期施策の検討、環境保全による持続可能な地域づくりを行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・フィールドパビリオンSDG s 体験型地域プログラムの磨き上げ（委託料等）6,000千円 ・フィールドパビリオンの広報、動画作成等（委託料等）22,816千円 ・フィールドパビリオン関連県産農産物を活用したグルメフェア等の開催（負担金）4,886千円 ・各地域におけるフィールドパビリオンを活用した魅力発信：70,467千円 ・持続可能な多自然地域プロジェクトの検証、次期施策検討会開催、マニュアル策定（委託料等）4,664千円 ・環境適合型社会の実現に向けた調査や集客イベントにおけるリユース素材使用促進（委託料等）8,859千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している、または、参加したいとおもっている人の割合（+0%） ②県内観光消費額（+1,386億円） ③地域支援人材の不足を補うため、新たに地域支援手法に取り組む市町数（+8市町） ④住んでいる地域で山、川、海などの自然環境が守られていると思う人の割合（+0%）					実施体制	県が主体となり、企業等に委託や、市町又は地元事業者等に補助を行うなどにより実施する。

事業概要：世界に誇る食のエリア形成プロジェクト～「神戸」×「世界一の食の島」をめざす淡路島～

新規

申請者	兵庫県南あわじ市ほか4自治体						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	150,000千円 (50,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	淡路島の最寄り空港である神戸空港では、国際線定期便就航により2030年には190万人の国際旅客が生まれると見込まれる。この地域活性化の機会を最大限に活かすため、兵庫県と神戸市、淡路島3市が共同で世界に誇る「食」をフックとしたブランディングを行うことにより、大都市圏から地方部へ経済効果を波及。 世界的なクライテリアの獲得による神戸・淡路地域のブランド向上のほか、魅力発信イベントや神戸空港を活用した訪日プロモーション、食の観光プログラムの磨き上げ、食を支える地方創生料理人の育成などにより地方におけるインバウンド受入環境を強化し、より一層強い地域観光経済を実現。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域産業クラスター形成に向けた観光産業の付加価値向上に向けて、以下の事業を行う。 ①食のエリアとしてのブランド価値の向上、②食を目的とした旅行者の増加、③食のエリアとしての受入基盤の整備、④食を支える人材の育成						 世界に誇る 食のエリアの形成 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ①食のエリアとしてのブランド価値の向上 25,000千円 世界的なクライテリア獲得によるブランド価値向上（委託料） ②食を目的とした旅行者の増加 4,000千円 食の魅力発信イベントの開催（委託料）等 ③食のエリアとして受入基盤の整備 12,000千円 食の観光プログラムの開発及び磨き上げ ④食を支える人材の育成 9,000千円 地方創生料理人の育成（委託料）等							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①外国人宿泊者数（神戸・淡路地域）（+75万人） ②観光消費額（神戸・淡路地域）（+441億円） ③観光GDP（神戸・淡路地域）（+300億円） ④地域産業クラスターとして民間企業や大学等の参画による食をフックとした取組の件数（+6件） ⑤広域連携による「食」にまつわる観光コンテンツの新規造成数（+5件）						実施体制	県と市が主体となり、企業等に委託するなどにより実施する。

※兵庫県、神戸市、洲本市、南あわじ市、淡路市による広域連携事業